記者発表資料

平成２８年４月１日
国　土　交　通　省
南三陸国道事務所

平成２８年度
南三陸国道事務所の事業概要について

平成２８年度東北地方整備局「南三陸国道事務所」管内の事業概要をお知らせします。
三陸沿岸地域の早期の復興を図るため、三陸沿岸道路、釜石花巻道路の１日も早い開通を目指し、地域一体となって事業を進めます。

平成２７年５月１５日に開通目標を発表した三陸沿岸道路（唐桑北～陸前高田）、（吉浜～釜石）、（釜石山田道路《釜石JCT～釜石両石IC、大槌IC～山田南IC》）、釜石花巻道路（釜石～釜石西）について、1日も早い開通を目指し事業の進捗を図ります。また、開通目標が発表されていない釜石山田道路（釜石北～大槌IC）についても、早期の開通を目指し事業を進めて参ります。

復興道路・復興支援道路は、被災地域への企業の進出にも寄与しており、開通後、救急医療や地域の活性化等の様々な面でのさらなる整備効果が期待されます。

（IC名称等については、仮称です。）

【発表記者会】
岩手県政記者クラブ、釜石記者クラブ、宮古記者クラブ、大船渡記者クラブ、東北専門記者会

問　い　合　わ　せ　先

国土交通省 南三陸国道事務所
〒026-0301 釜石市鵜住居町第１３地割１－４　（代表）電話：０１９３-２８-４７３１

工務課長　　田口（たぐち）秀美（ひでみ）（内線４１１）

南三陸国道事務所のホームページ
http://www.thr.mlit.go.jp/minamisanriku/index.html

1．平成28年度当初予算の概要

三陸沿岸地域の早期の復興を図るため、三陸沿岸道路、釜石花巻道路の1日も早い開通を目指し、地域一体となって事業を進めます。

（単位：百万円）

区分	平成27年度 当初予算	平成28年度 当初予算	伸び率 H28/H27
復興庁計上分	35，409	38，891	1．10

※事業費は、業務取扱費を除く

2．事業の概要

【継続事業】

事業名	H28事業費 （百万円）	H28事業内容	完成・開通 目標年度	
国道45号 三陸沿岸道路（唐桑北～陸前高田）	7,700 （岩手県分）	調査設計、用地補償、 改良・橋梁・トンネル工事	H30	
国道45号 三陸沿岸道路（吉浜～釜石）	14,125	調査設計、用地補償、 改良・橋梁・トンネル工事	H30	
国道45号 三陸沿岸道路（釜石山田道路）	10,966	調査設計、用地補償、 改良・橋梁・トンネル工事	（仮）釜石JCT～釜石両石IC	H30
			釜石北IC～（仮）大槌IC	―
			（仮）大槌IC～山田南IC	H30
国道283号 釜石花巻道路（釜石～釜石西）	6,100	調査設計、用地補償、 改良・橋梁・トンネル工事	H30	

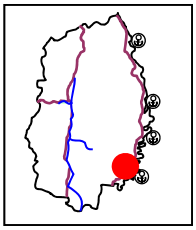
国道45号　三陸沿岸道路（唐桑北～陸前高田）

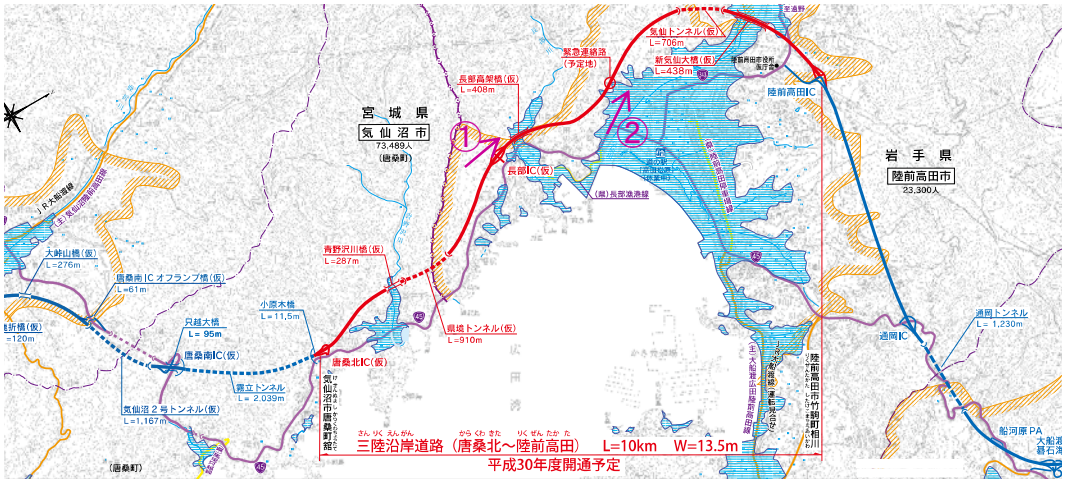
H28：7,700百万円(岩手県分)

開通予定：H30

継続	宮城県気仙沼市～岩手県陸前高田市	道路	直轄

三陸沿岸道路（唐桑北～陸前高田）は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。









▲(唐桑北～陸前高田)の整備状況

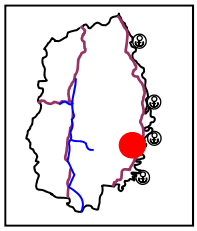
国道45号　三陸沿岸道路（吉浜～釜石）

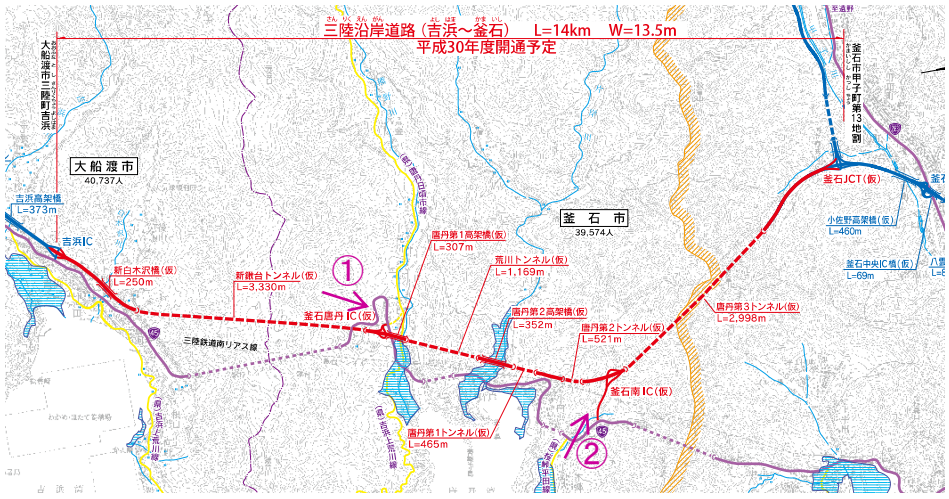
H28：14,125百万円

開通予定：H30

継続	岩手県大船渡市～釜石市	道路	直轄

三陸沿岸道路（吉浜～釜石）は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。









▲(吉浜～釜石)の整備状況

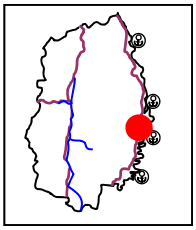
国道45号　三陸沿岸道路（釜石山田道路）

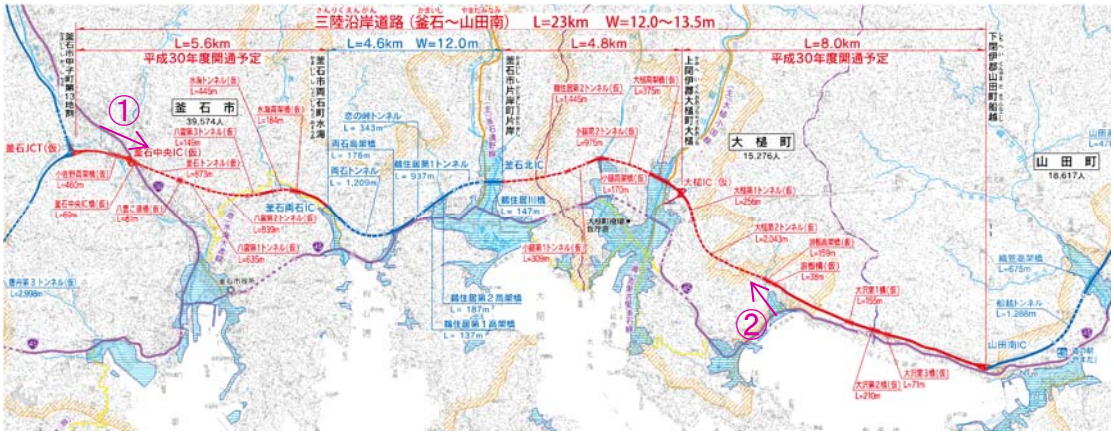
H28：10,966百万円

開通予定：H30(一部)

継続	岩手県釜石市～下閉伊郡山田町	道路	直轄

三陸沿岸道路（釜石山田道路）は、三陸縦貫自動車道の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。









▲釜石山田道路の整備状況

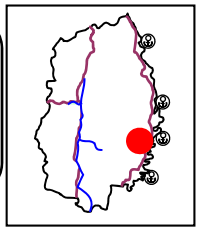
国道283号　釜石花巻道路（釜石～釜石西）

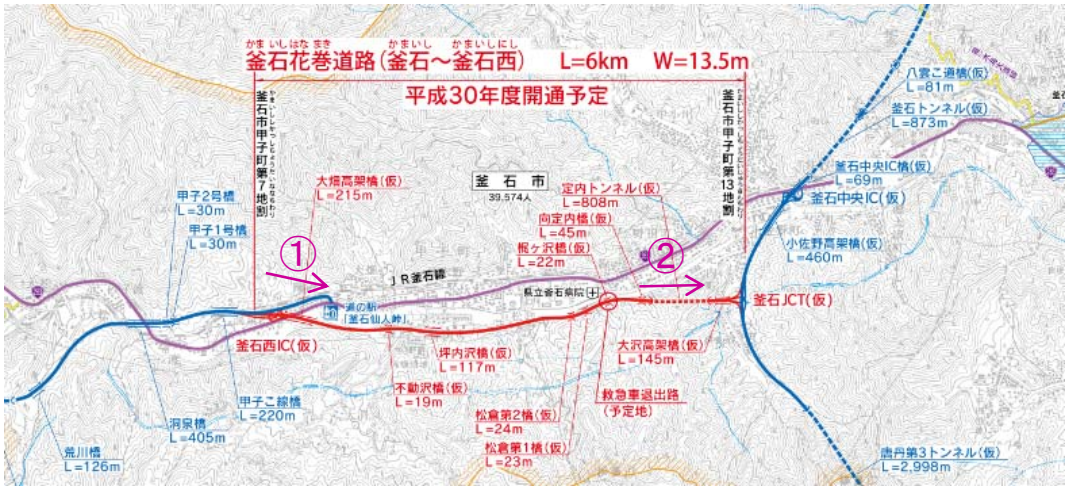
H28：6,100百万円

開通予定：H30

継続	岩手県釜石市	道路	直轄

釜石花巻道路（釜石～釜石西）は、東北横断自動車道釜石秋田線（釜石～花巻）の一部を構成し、東日本大震災被災地の早期復興を図り、高規格幹線道路ネットワークを形成する自動車専用道路です。









▲(釜石～釜石西)の整備状況

復興道路・復興支援道路の整備効果

釜石港貨物取扱量増加、企業進出

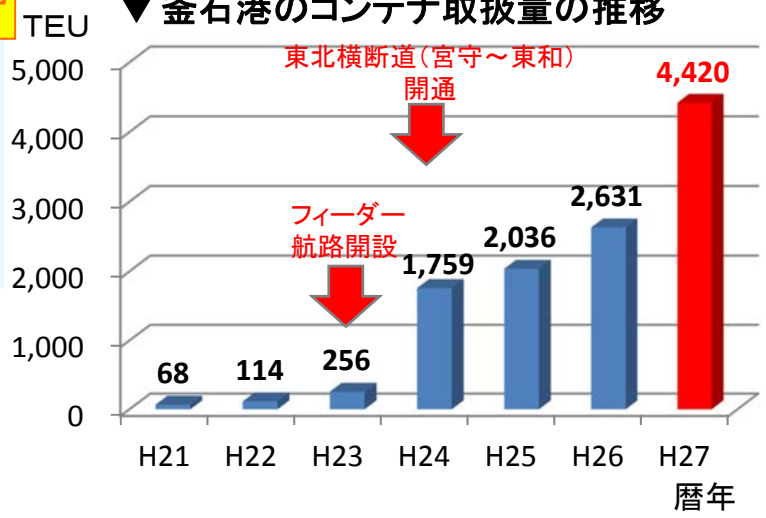
◇「釜石港」は、重要港湾として平成23年度内航フィーダーコンテナ航路が開設
◇ 平成24年度横断道の開通により釜石港の利用企業者数、コンテナ取扱い量が大幅増加
◇ **横断道の全線開通**により、内陸部との連携強化を図り、産業・経済の活性化



▼釜石市における近年の企業立地の状況

区分	企業名	立地協定
新規	㈱バイオ・パワー・ジャパン	H23年10月
増設	SMC㈱工場	H23年11月
新規	双日食料水産㈱	H24年2月
新規	釜石ヒカリフーズ㈱	H24年3月
新規	エア・ウォーター物流㈱	H24年12月
新規	トリナ・ソーラー社	H26年9月
増設	SMC㈱工場	H27年3月

▼釜石港のコンテナ取扱量の推移



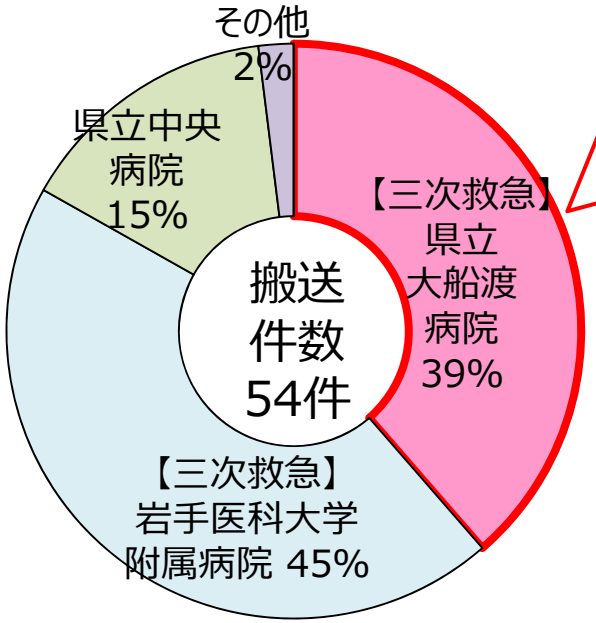
復興道路・復興支援道路の整備効果

救急医療を支援、暮らしの安全確保

◇釜石市からの管外救急搬送は、約４割を県立大船渡病院へ搬送
◇吉浜道路開通で４５号経由に比べ、搬送時間は約３割短縮、救急医療を支援。全線開通で更なる搬送時間短縮に寄与。



▼釜石病院等からの管外救急搬送の状況（H26）



管外搬送の
約4割を県立
大船渡病院へ搬送

⇒搬送時間短縮と
患者の負担軽減

資料：H26(1月～12月)
釜石消防管外搬送実績

患者の症状を救急隊が判断し、病院を決定
釜石病院では、容体や処置状況から、
大船渡病院や医大や中央病院へ搬送
大船渡病院へは、救急車退出路を利用
吉浜道路開通で安全かつより早く搬送できる。
（H27.5　釜石消防ヒアリング結果）

復興道路・復興支援道路の整備効果

大槌IC周辺　公共施設等の再配置

◇ 大槌IC周辺に産直施設、消防署を設置、誘致企業集積地からの輸送も円滑化
◇ 復興道路の活用で、復興まちづくり、更なる産業の活性化を図る

三陸道 大槌IC設置
アクセス道路 整備

・周辺の公共施設等
　再配置
　産直施設、公営住宅
　消防署、小中一貫校

・産業集積地を整備
　輸送の円滑化、
　販路拡大

三陸沿岸道路・大槌IC周辺計画図







H27.6.1　復興道路会議～岩手県～　大槌町資料を基に作成

復興道路・復興支援道路の整備効果

釜石ラグビーワールドカップ開催支援

◇ ラグビーワールドカップ2019大会期間中（H31.9～）に釜石市に延べ30万人が来訪予定
◇ 大会成功には、宿泊先の県内各市町村との連携と会場までの円滑な輸送が不可欠
◇ 平成30年度までに東北横断道釜石秋田線を全線開通させ、アクセス向上を図る



データ提供：釜石市

スタジアム概要
収容人員
約16,000席

H27.6.1　復興道路会議～岩手県～　釜石市資料より

南三陸国道事務所管内　事業箇所位置図

